

まつうら 農業委員会だより

第1号

平成18年2月1日発行

発行 松浦市農業委員会
編集 委員会だより編集委員会
TEL(0956)72-1111



“ガンバル”まつうら農業

(福島町和牛婦人部)

[関連記事は6ページに掲載しています。]

● 主な内容 ●

	ページ
◆年頭のご挨拶.....	2
◆農業委員の紹介.....	3
◆農業委員担当区域案内.....	4
◆我が町の自慢.....	5
◆“ガンバル”まつうら農業.....	6

- 定例農業委員会の開催日は、原則として毎月27日です。
- 農地転用申請受付期間は、原則として毎月8日から14日までです。
- 農地に関する相談事は、地元農業委員または農業委員会事務局・分室へお尋ねください。



年頭のあいさつ

松浦市農業委員会

会長 吉田良三



皆様には恙なく輝かしい新年をお迎えることと思えます。今年は平成の大合併という流れの中で、一月一日をもって新松浦市が誕生いたしました。それに伴い農業委員会も一市二町の枠組みにより新しい農業委員会として生まれ変わりスタートいたしました。

この度、その発足にあたり、私議不肖にも皆様のご推挙により会長の重責を担うことになりました。新松浦市発足にあたり、その節目の時に皆様のご信任を賜り就任することになり、皆様のご信任とご信頼に対し感謝申し上げ光栄に存じま

おります。在任特例法により三月三十一日までの限られた短い期間ではありますが、受け持ちました以上は微力ながら最善を尽くして頑張る所存であります。皆様の暖かいご理解とご指導なくしては責任を全うできませんので、ご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

さて、農業情勢は相変わらず厳しい環境にあります。農業経営者の高齢化、担い手不足、農地荒廃・遊休化等、内的課題に加え、貿易自由化の進展により大量の輸入農産物が流入し価格の低落による経営の不安定化等、何れも深刻さを増し難問が山積みいたしております。そういう中で、松浦市の発展を図り振興を目指すには、これといった産業がない中で農林・水産業等、一次産業を基幹産業として育成強化する以外に道はないものと言えます。それ故、本市農業の活性化を計り地域振興のため私共農業委員会に課せられた責任は重大なものと思えます。今後、伊万里湾を囲んで共存共栄の理念の基、一体感を保ちながら本市農業の均衡ある発展を目標に、研鑽に努め、活動を強化し使命を果たすため頑張っていきたいと思っておりますので、重ねて農家の皆様、関係者の方々のご支援とご協力をお願い申し上げます。

新農業委員会発足!

平成十八年一月一日をもって、松浦市・福島町・鷹島町の合併により、新しい松浦市が誕生いたしました。これに伴い、農業委員会につきましても一市二町の農業委員四十二名による農業委員会が誕生しました。任期は在任特例の適用により十八年三月三十一日までとなります。短い期間ではありますが、委員会の活動に支障がないよう、また、農家の皆様に混乱を招かないように農業委員一同頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。

※任期満了前後の予定について

現在の委員の任期は三月三十一日までとなりますので、三月中に農業委員選挙が行われます。改選後の任期は、十八年四月一日から二十一年三月三十一日までです。委員定数は三十七名で、選挙区は旧松浦市が二選挙区二十名、旧福島町・旧鷹島町で、選挙区十名、議会推薦四名、農協一名、共済一名、土地改良区一名となります。

新しい農業委員の紹介

(議席番号順)

- ・井元末廣(調川町)
- ・北浦亀良(御厨町)
- ・小西昭(志佐町)
- ・川上博昭(星鹿町)
- ・久保川久(志佐町)
- ・吉元政弘(御厨町)
- ・萩原茂(調川町)
- ・澤田勝男(志佐町)
- ・高橋祐一(今福町)
- ・松田守幸(御厨町)
- ・松永逸男(志佐町)
- ・川久保壽(調川町)
- ・森興太郎(御厨町)

- ・山本茂(今福町)
- ・山本秀光(志佐町)
- ・浦田啓四郎(星鹿町)
- ・田代憲司(今福町)
- ・田口貴久(星鹿町)
- ・志水堅治(福島町)
- ・田中裕志(福島町)
- ・福田歳春(福島町)
- ・吉田泰典(福島町)
- ・前田巖(福島町)
- ・大山幸人(福島町)
- ・川本義孝(福島町)
- ・前田辰生(福島町)
- ・永田博(福島町)

- ・松尾武(福島町)
- ・廣瀬茂好(鷹島町)
- ・山内重則(鷹島町)
- ・坂元保(鷹島町)
- ・吉田政明(鷹島町)
- ・川下實(鷹島町)
- ・金井田弥太郎(鷹島町)
- ・山田徳光(鷹島町)
- ・川瀬等(鷹島町)
- ・大石徹麻(鷹島町)
- ・近藤貴司(鷹島町)
- ・村田寛典(志佐町)
- ・戸山政行(志佐町)
- ・岩木功(御厨町)
- ・田中晋(御厨町)
- ・吉田良三(志佐町)

農業委員担当区域一覽

平成18年1月1日の合併により、新しい担当区域が決定しました。

農業委員名	担当区域	農業委員名	担当区域	農業委員名	担当区域
山本 茂	寺上,木場上・下,人柱,坂野	森 興太郎	寺ノ尾上,郭公尾	廣瀬 茂好	中通
高橋 祐一	土肥ノ浦,浜ノ脇,今福浦,仏坂,飛島	田中 晋	池田上,駅通り,池田,寺ノ尾中・下,中野,前田	山内 重則	鷹島里,日比
田代 憲司	北東1・2・3,滑栄	川上 博昭	北久保,牟田,川原辺田	大石 徹麻	鷹島原
井元 末廣	白井,松山田	浦田啓四郎	大石,下田,星鹿	吉田 政明	阿翁,阿翁浦
萩原 茂	上平尾,上免,中免	田口 貴久	青島	山田 徳光	三里
川久保 壽	下免,江口,平尾	松尾 武	喜内瀬	近藤 貴司	船唐津
久保川 久	白浜,庄野	永田 博	土谷	川瀬 等	石川
松永 逸男	志佐浦,里,大浜	前田 辰生	福島里	金井田弥太郎	黒島
吉田 良三	長野,稗木場	川本 義孝	鍋串	川下 寛	神崎
山本 秀光	赤木,上高野,下高野	大山 幸人	大山	坂元 保	殿ノ浦
澤田 勝男	池成,栢ノ木,上野	前田 巖	祝崎,白土	村田 寛典	笛吹
小西 昭	柚木川内,田ノ平,横辺田	吉田 泰典	伊万里釜	戸山 政行	西山
北浦 亀良	小船,大崎上・下	福田 歳春	福島原	岩木 功	田代
吉元 政弘	御厨木場,板橋	田中 裕志	浅谷	今回の任期は在任特例の適用により平成18年3月31日までとなります。	
松田 守幸	西木場,川内	志水 堅治	播磨釜		

「県北支部農業委員研修会」松浦で開催

「平成十七年度・長崎県農業会議県北支部農業委員研修会」が、県北支部と長崎県農業会議との共催により、十月二十五日、松浦市文化会館において開催され、三市八町の農業委員会の委員及び事務局職員約二百五十名が参加しました。

研修会は、永年勤続者の表彰後、講演を行い、福岡県うきは市教育長（前福岡県園芸農業協同組合連合会参事）樋口泰範先生による「中山間地域における農業の現状とこれからの課題」と題して、生産力の低下を外国からの輸入で補っている現状とその問題点や、食の見直しにより欧米型の食生活から米を中心とした本来の日本型の食生活が見直されてきているということ、また、農産物の直売所での販売とその成功例等についての話がありました。また、休憩を挟んで全国農業会議所 農地・構造対策部

守屋 洋先生による「農地制度の見直しと農業委員会の対応」と題した講演があり、農地の遊休化に対処する農業委員会の役割の重要性等を含めた、「農業経営基盤強化促進法」の一部改正とその対応についての話がありました。



我が町の自慢

今宮神社と大銀杏

今宮神社と大銀杏は、鷹島町の南部三里地区の中央部に位置し、県道からすぐ近い所にある神社の前にはゲートボール場があり、今でも地区のご老人の方々が

熱心に和気あいあいとプレーされているところですよ。

〈今宮神社〉

町郷土誌によると、ここは一一四八年（久安四年）久公の第一子御厨公直が勧請、満福寺境内に建立したものと伝えられ、松浦家史伝にも久公を今宮明神に祀るとあります。また国立博物館美術誌昭和三七年八月号には、

「熊野今宮明神と称され、

現在住吉神社に所蔵される大般若写経及び御正体は、いつの頃から今宮明神より移されたものである。」と発表されています。その当時、氏は今の船唐津地区も含め遠く志佐谷方面からも参詣の人が絶えな

かったそうであります。境内には松浦久公及び十四代答公の墓所があり、その他元寇殉難将士の墓標、五輪塔、宝篋印塔が幾基もあつて古い由緒をとどめています。



〈大銀杏〉

（樹齢四百年以上 県天然記念物）

境内の中にあり、樹幹の中途より乳房状の基根が垂れ下がっています。昔よりその皮を煎じて飲めば、乳が出るようになるとのこと、今現在でも言い伝えとして残っています。

（事務局鷹島分室）

読んでますか？

『全国農業新聞』

全国農業新聞は、全国の農業者に愛読される農業総合専門誌です。

月四回の毎週金曜日に、農業者に的確な情報提供を行っています。今後の農業経営の参考に、まだ読んだことのない方は、読んでみませんか？

購読料は、月六百元です。

お申し込みは、地元農業委員または農業委員会事務局（分室）にお願いします。

電話 事務局 〇九五六一七二一一二（内三三）

福島分室 〇九五五〇四七三二二（内二一）

鷹島分室 〇九五五〇四八三二二（内四一）

農地の無断転用は

やめましょう！

許可なく農地を転用する行為は農地法違反で、厳しい罰則が与えられます。

農地等の権利取得の効力を生じないだけでなく、都道府県知事は工事の中止、原状回復を命ずることが出来ます。

これらに違反した場合は、**三年以下の懲役または三百万円以下の罰金が科せられます。**

ガンバル まつうら 農業

《表紙の紹介》

「きつと笑顔になれる」

福島町和牛婦人部は、一九八五年に発足し、平成三年には和牛改良組合の下部組織として本格的な活動を始めた、女性三十一名の集まりです。

「いい牛づくり」が目標であることは言うまでもなく、活動を通じて日々の暮らしにめりはりをつけ、生涯現役で心豊かな生き方を求めています。

年間の主な活動は、町主催のふるさと祭りや、和牛共進会への参加、研修旅行、花づくりと盛りたくさん！

平成十二年からは、遊休農地を借りて、サツマイモの作付を始め、婦人部名物の石垣ダンゴの材料の確保と同時に、秋の収穫を「脳いきいき教室」の老人の方、ホープステーションの方々と一緒に行っています。参加された方の生き生きとした笑顔の中に園芸福祉、園芸療法的一端を感じることができました。



婦人部も高齢化が進み、若返りの気配がないのが最大の課題です。

今後も無理をせず、牛に寄り添い、常に地域社会へ目を向け、出来ることをやっつけていこうと、松浦市の一員となり決意新たにしているところです。

農業の半分は夢・・・夢を抱いてこそ笑顔と意欲が生まれるはず・・・

(福島町和牛婦人部)

人事のお知らせ

一月一日付けの事務局職員を紹介いたします。

事務局

事務局長 伊藤 薫

次長兼農地係長 福岡 一男

参事 井手 豊

副主 瀬尾 幸久

副主 川上 大輔

副主 久保川 律

福島分室 主 事 海崎 勝幸

鷹島分室 副主 任 有浦 豊久

よろしくおねがいます。

編集室から

今号は、合併後第一号の「農業委員会だより」となります。

旧市町の「農業委員会だより」同様これからも、農家の皆様に親しまれ、役に立つ情報紙を目指し、充実した紙面の編集に編集員一同努力してまいります。

皆様からの記事をお待ちしておりますので、情報・ご意見等ございましたらお寄せ下さい。

(編集員一同)